

4 農林水産物がわたしたちのくらしにとどくまで

ここでは、農林水産物が私たちの生活に届くまでの流れ（流通）について、大量流通システムである卸売市場流通と近年増えている直売所の流通について解説する。

副読本 P41

ねらい

- ・農林水産物は、産地から様々な経路を通過してわたしたちのくらしに届いていることを知る。

指導のポイント

- ・農林水産物を効率よく集荷し、安定した量と価格で消費者に届けるためのシステムが卸売市場であることを理解させる。
- ・近年、生産者と消費者を直接結びつけたり、生産地と消費地を近づけたりする経路が増えてきている理由を考えさせる。

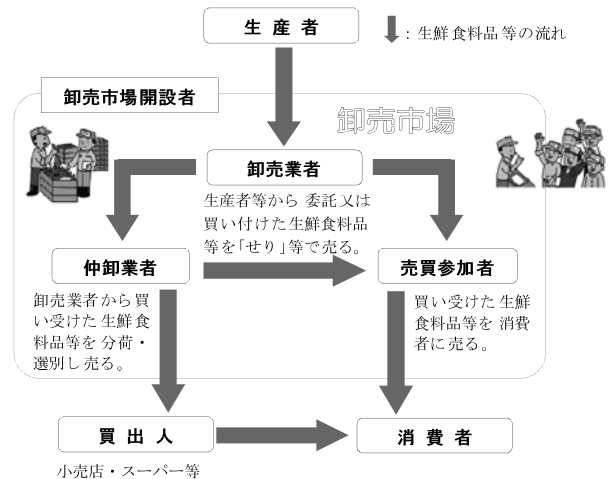
展開例・発問例 1	
学習活動	指導上の留意点
農林水産物は、どうやってわたしたちのところに届くのだろう？	
<p>1 農林水産物がわたしたちのくらしにとどくまでには、どんな道すじをたどるのか調べよう。</p> <p>2 「地産地消」がさげばれたり、「直売所」が増えたりしている理由について考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産地からわたしたちの元に届くまでには、様々な経路があることに気付かせるとともに、それぞれの特徴についても考えさせる。 ・それぞれの農林水産物に応じた輸送手段にはどんなものがあるのか、副読本からだけでなく、日常生活の中で見かける輸送の様子を想起させる。 ・生産者の思いとともに、消費者が求めているものについても考えさせることで、需要と供給の関係の上に生産や輸送が行われていることを理解させる。

解 説 等

1 卸売市場とは

毎日の食生活に欠かせない「野菜、果実、鮮魚、肉」などの生鮮食料品や、生活を豊かにする「花」などを全国各地から多種多量に集め、せり等の取引により適正な価格をつけて、安定的に消費者に供給する流通拠点である。

卸売市場では、入荷した品物はすべてその日のうちにせりなどにより、仲卸業者に買い取られ、買出人（小売業者等）に渡り、消費者である私達に届けられている。入荷した品物は、右図の流通経路で取引されている。



2 県内の卸売市場

卸売市場には中央卸売市場、地方卸売市場、その他の卸売市場の3つの種類があります。

区分	内容
中央卸売市場	・開設者は、都道府県又は人口20万人以上の市等
地方卸売市場	・開設者については制限無し ・中央卸売市場以外の卸売市場であって、卸売場の面積が一定規模以上のもの
その他の卸売市場	・中央及び地方卸売市場以外の卸売市場

<兵庫県内の卸売市場の開設数（平成28年4月現在）>

下の表のように、兵庫県内にはたくさんの卸売市場があり、全ての県民が食料や花を不足なく買えるようになっている。

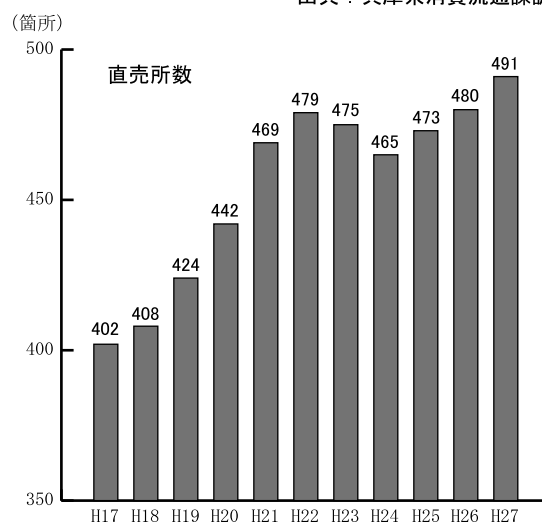
区分	総合市場	青果市場	水産市場			食肉市場	花き市場	合計
			消費地市場	産地市場	小計			
中央市場	2 (神戸本場、 神戸東部市場)	—	1 (姫路)	—	1	1 (神戸西部市場)	—	4
地方市場	11	4	3	8	11	3	1	30
その他の市場	3	8	5	32	37	3	—	51
合計	16	12	9	40	49	7	1	85

出典：兵庫県消費流通課調べ

3 地産地消の取り組み

最近では地元の食材を地元で消費する「地産地消」の取り組みが生産者側、消費者側も盛んで、市場を通さずに産地や都市部に「直売所」を設置して、新鮮でおいしい野菜を安く販売するスタイルが多く見られる。

また、スーパーマーケットの野菜売り場の一角に特定の地域の農林水産物を販売するコーナーを設ける（「インショップ」という）取り組みも多く行われている。



出典：兵庫県総合農政課楽農生活室調べ

4 直売所の特徴

直売所と市場流通との違いは、次の通りである。

- ① 各種仲介を省き、生産者と消費者を直接つなぐため、手数料等の中間マージンを抑え、生産者は収入が増え、消費者は安く購入することができる。
- ② 地元でとれた、または加工された産品を確実に手に入れることができる。
- ③ 収穫から店頭で販売されるまでの時間が短く、新鮮な野菜が提供できる。
- ④ 生産者の氏名の表示や、顔写真の掲示など、生産者と消費者の信頼関係を築くことができる。

などである。

5 野菜の価格形成について

近年、野菜の流通には卸売市場などを通じて行われる一般的な市場流通と直売所などで中間の流通を省く形態など、多くの経路がある。そこで、以下に市場流通と直売所での販売を例に挙げ、その価格形成について見てみる。

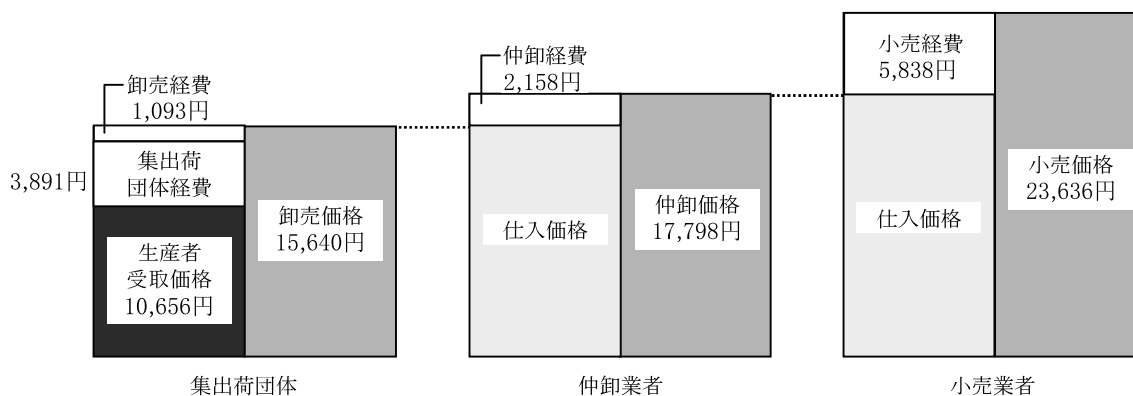
(1) 市場流通の場合(平成26年度食品流通段階別価格形成調査報告より)

主な青果物16品目の100kgあたりの生産者受取価格(受取収入-出荷奨励金等)は10,656円であった。

次に、これを購入した仲卸業者から小売業者と流れ、それぞれの段階で手数料が加わり、小売価格が23,636円となる。

市場流通を経由した場合は、途中で各種の経費が発生するが、手引書P72でも述べたとおり、多種多様な生鮮食料品などを安定的に消費者に供給するためには無くてはならないシステムである。

各流通段階の価格形成試算(青果物調査対象16品目平均・100kg当たり)



平成26年度食品流通段階別価格形成調査結果より

小売価格は生産者受取価格の2倍以上になる。

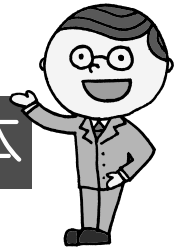
この計算を単純に当てはめると、小売価格100円の野菜では農家の受取価格は約45円である。

(2) 直売所の場合

県下の直売所の販売手数料の平均は約15%である。例えば、野菜を100円で販売する場合は農家の受取価格は85円となり、上記の市場流通の倍の金額を受け取ることができる。また、販売価格を80円に設定しても約70円の農家受取価格となるため、農家は市場流通より手取りがよく、消費者も市場流通より安く新鮮な野菜を購入できるのである。また、少量でも出荷できるため、兼業農家や高齢農家でも出荷できる。これらの理由から、近年、直売所が増加している(手引書P73参照)。

5

農林水産業を支える団体



ここでは、農林水産業を支える団体として農業協同組合、森林組合、漁業協同組合について解説する。

副読本 P42~44

ねらい

指導のポイント

- ・農林水産業には農林漁業者以外に多くの人々が関わっていることを知る。
- ・食料や木材などの一次生産物が自分たちの手元に届くまでには多くの場や人々の手を介していることを知る。
- ・地域で多く生産されている農林水産物を、一つ取り上げ、実際の流通経路を調べるなど、具体的に学べるよう工夫する。
- ・流通の過程で、荷の形態（箱詰め、パック詰め、袋詰めなどの商品としての形態の変化）やその理由を考えるなど流通経路に介在する業種の必要性を考えさせる。

展開例・発問例 1

学習活動	指導上の留意点
なぜ農林水産業を支える団体があるのだろう。	
1 農林水産業を支える団体の一つ取り上げて調べる。 2 もし団体がなかったら、どのようなことが困るのかを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいたことや感想をノートにまとめさせる。 ・「どんなときに困るのか。」といった話し合いの中で、団体がとても大切な役割を果たしていることに気づかせる。

解 説 等

1 協同組合とは

協同組合は、今日最も一般的な株式会社とは、根本的な違いがある。株式会社は株主によって構成され、株主はその株式に対しより高い配当を受けることが目的であり、その会社の製品を使ったり、施設を利用したりすることが目的ではない。このため、株式会社の顧客は不特定多数である。一方、協同組合は、その組合の事業を利用することを目的に出資をする組合員からなる、メンバー組織である。組合員1人ではできない様々な事業や活動を、協同や相互扶助の原理を基本に組合が事業化し、組合員は組合の事業を利用することによって自らの生産や生活を向上させるものである。もともと協同組合は、経済的な弱者が自分たちの生活を守り向上させるために作ったもので、組合員の生産活動や生活を支援している農業協同組合、漁業協同組合、森林組合などや組合員の生活支援を行っている生活協同組合などがある。

2 農業協同組合

農業協同組合（農協、現在では、「JA」という愛称で呼ばれている）とは、農業者が、相互扶助を目的として、農業協同組合法（農協法）に基づき自主的に設立する協同組合である。小規模な事業者であり、経済的弱者といわれる農業者が、生産や消費活動の相互扶助・協同によって、その経済的社会的地位の向上を図ることを目的としている。主な仕事の内容は副読本のとおり。

3 農業協同組合の種類

農協には、大きく分けて「総合農協」と「専門農協」とがある。

- ・「総合農協」とは、信用・共済・購買・販売など様々な事業を総合的におこなっている農協をいう。
- ・「専門農協」とは、畜産、酪農、果樹、農村工業など特定の業種に限って、営農指導、共同販売、資材の共同購入などを行っている農協をいう。

平成28年4月1日現在、兵庫県には14の総合農協がある。
各農協の所在地、電話番号などはJAグループ兵庫または兵庫県のホームページで閲覧可能

JAグループ兵庫

→<http://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>

兵庫県

→http://web.pref.hyogo.lg.jp/af05/af05_000000022.html



県内の総合農協（H28.4時点）

4 森林組合

森林組合法に基づいて設立された協同組合である。組合員が協同してその経済的社会的地位の向上並びに森林の保続培養及び森林生産力の増進を図ることを目的とし植林から伐採及び加工・販売の森林に関する作業を行い、専門的技術によって、大切な森を守り育てている。主な仕事の内容は副読本のとおり。

平成28年4月1日現在、兵庫県には17の森林組合がある。

各森林組合の住所、電話番号などは兵庫県森林組合連合会又は兵庫県のホームページで閲覧可能
兵庫県森林組合連合会 →<http://www.hyogomori.jp/>

5 漁業協同組合

水産業協同組合法によって定められており、漁民の協同組織の発達を促進し、もってその経済的社会的地位の向上と水産業の生産力の増進とを図るための協同組織とされている。主な仕事の内容は副読本のとおり。

平成28年4月1日現在、兵庫県には37の漁業協同組合がある。

県下の漁協の一覧は兵庫県漁業協同組合連合会又は兵庫県のホームページで閲覧可能

兵庫県漁業協同組合連合会 →<http://www.jf-net.ne.jp/hggyoren/>

兵庫県 →http://web.pref.hyogo.lg.jp/af18/af18_000000011.html

食料自給率 自分たちの国で必要な食べ物を作っているかを示す割合

[1] 50年前の食事と今の食事を比べてみて気が付くことを書いてみましょう。

現在の日本の食料自給率は

%です

[2] 日本人が食べているものをすべて国内で作ることはできません。
これからどんなことをしていけばよいとおもいますか。

[1] 5ページの始めから6行目までを読んで答えましょう。

◆米を大きく分けて3つ書きましょう。

①	米	②	米	③	米
---	---	---	---	---	---

◆うるち米で人気のある米のめいがらを3つ書きましょう。

①	②	③
---	---	---

[2] 5ページの上のグラフ「兵庫県の米の作付面積と収かく量のうつつりかわり」を見て、下の問題に答えましょう。

① 作付面積は、どのように変化していますか。選んで○で囲みましょう。 だんだん増えている だんだんへっている かわらない
② 収かく量はどのように変化していますか。選んで○で囲みましょう。 だんだん増えている だんだんへっている かわらない
③ 上の2つのことからどんなことがわかりますか。

[3] 5ページの中のグラフ「米づくりの労働時間(全国)」を見て、下の問題に答えましょう。

① 労働時間は、どのように変化していますか。選んで○で囲みましょう。 だんだん増えている だんだんへっている かわらない
② ①のようになったのは、なぜでしょうか。

[4] それぞれ()のページを読んで下の問題に答えましょう。

①	兵庫県で生まれた「酒米の王様」といわれるお米の品種を漢字3文字で書きましょう。(6ページ)	
②	全国的に有名な丹波で収かくされる黒大豆の名前を漢字3文字で書きましょう。	
③	兵庫県で作られる野菜のうち、生産量が多いものを4つ書きましょう。(7ページ)	
④	兵庫県のくだもの生産量No.1は何でしょう。(8ページ)	
⑤	兵庫県のおもな切り花出荷量No.1は何でしょう。(8ページ)	

[5] 兵庫県の農業についてあなたの感想を書きましょう。

[1] 副読本のp2、p12から14までを読んで、問題に答えましょう。

森林にはどんなはたらきがあるでしょう。下の□の中に書きましょう。

- ① 業は 木を育てて木を切りだし、家や家具の材料を作っている。
- ② 森林ではきのこや がとれる。
- ③ 二酸化炭素を吸収し を出し 新鮮な空気をあたえてくれる。
- ④ をためて洪水や渇水をふせいだり をきれいにしたりする。
- ⑤ 森林浴などで や をいやしてくれる。
- ⑥ 森林にふった雨は 地下水になって少しずつ に流れ出す。
このはたらきは 緑のダムとよばれる。

[2] p13を読んで答えましょう。

木を使って森林を元気にするためにはどうすればいいでしょうか。

副読本のp15から20までを読んで、問題に答えましょう。

[1] 漁業は大きく2つに分かれます。下に書きましょう。

漁業と 漁業

[2] 育てる漁業にはどんな方法・取り組みがありますか。3つ書きましょう。

育てる漁業

-
-
-

[3] 下の漁法は日本海側、瀬戸内海側のどちらでしょう。()の中に日本海側ならア、瀬戸内海側ならイを入れなさい。

- () 水あげ量の約半分を養しよく業がしめている。
- () 大型船による沖合漁業を中心に、沿岸ではいかつり漁業などが行われている。
- () つり漁業や小型船による底びきあみ漁業などの漁船漁業が行われている。

[4] 兵庫県でさかんな養しよくはなんの養しよくですか。

[5] 干がたや、も場の役割はなんでしょう。説明しましょう。

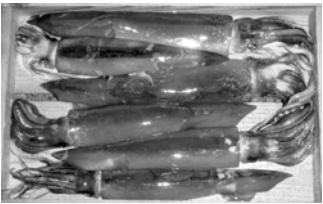
[6] なぜ、漁業者は山に木を植える活動なども行っているのですか。説明しましょう。

農林水産業がわたしたちの暮らしにとどくまで

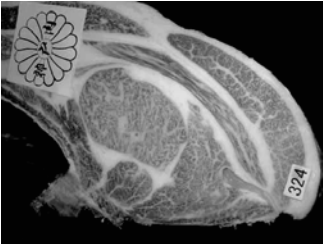
p41を読んで答えましょう。
[1] 産物の絵と名前を線でつなぎましょう。



▪ 水産物



▪ 木 材



▪ 農産物



▪ 畜産物

[2]下の から言葉をえらび () に書きましょう。

(1) 野菜やくだものなどは()に集められたあと、()に運ばれ、せりかけられてからスーパーマーケットなどで売られます。最近は()や直売所などで売られることも増えています。

(2) 魚や貝は、漁業協同組合などの卸売市場で()などを行い、値段や売り先が決められます。こうして出荷されたあと、魚屋やスーパーマーケット、漁協の直売所などで売られます。

(3) 木材は、丸太にして、山から運び出します。丸太は()で加工する人に買われたあと、()で柱や板などになり、わたしたちの家や家具の材料になります。

卸売市場 製材工場 産地直送 農業協同組合 せり 木材市場

「農林水産業を支える団体」

[1] 次の文に当てはまる団体を書きましょう。

農家の農業生産のお手伝いをしたり、
地域のくらしが豊かになる活動をしている。

漁業者のくらしが豊かになる活動をして
している。

地域の森林を元気にして、森林所有者の
くらしが豊かになる活動をしている。

[2] 次の写真は、どの団体と関わりのある活動でしょう。
下の四角の中から選んで、それぞれ記号で答えましょう。













ア 農業協同組合

イ 漁業協同組合

ウ 森林組合

[3] 次のマークは、どの団体と関わりのあるマークかわかるかな？◆



()



()



()

マークの答え(左から、森林組合・農業協同組合・漁業協同組合)

農家のくらしと農林水産物の1年

[1] 農産物がとれる時期と農家のしごと

農産物から米を1つと野菜などを1つえらんで、とれる時期とそれまでのしごとについてまとめましょう。

農産物	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
米()												

[2] 兵庫県で水産物がとれる時期や養殖された水産物がとれる時期とそのしごと

兵庫県でとれる水産物や養殖されている水産物を2つえらんで、とれる時期とそれまでのしごとについてまとめましょう。

水産物	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

[3] 調べてわかったことは何ですか。

[4] 調べた感想を書きましょう。

発行：農林水産業副読本作成委員会

企画・執筆

農林水産業副読本作成委員会

兵庫県小学校教育研究会社会科部会

神戸市立蓮池小学校校長

神戸市立駒ヶ林小学校校長

尼崎市立成徳小学校校長

小野市立大部小学校校長

姫路市立手柄小学校校長

新温泉町立浜坂東小学校校長

丹波市立芦田小学校校長

洲本市立中川原小学校校長

兵庫県農業協同組合中央会地域くらし対策部長

兵庫県森林組合連合会専務理事

兵庫県漁業協同組合連合会参事

兵庫県教育委員会義務教育課長

兵庫県農政環境部農政企画局総合農政課長

中山 裕之

竹村 和展

田邊 真一

大西 誠一

廣畑 徹

田中 滋人

田野 和昭

生子 恵司

松本 宏

塩谷 元宏

田中 稔彦

西田 健次郎

姫野 崇範

ひょうごの農林水産業作成作業部会

兵庫県小学校教育研究会社会科部会

神戸市立駒ヶ林小学校校長

神戸市立若草小学校主幹教諭

神戸市立御影小学校教諭

尼崎市立杭瀬小学校教諭

小野市立中番小学校教諭

姫路市立荒川小学校教諭

新温泉町立浜坂東小学校教諭

丹波市立三輪小学校教諭

洲本市立堺小学校主幹教諭

兵庫県農業協同組合中央会地域くらし対策部

(一社) 兵庫県林業会議事務局長

兵庫県漁業協同組合連合会指導部指導担当課長

兵庫県農政環境部(総合農政課、農産園芸課、畜産課、林務課、水産課)

竹村 和展

橋本 寿

永田 彰

檜 貴之

岡田 祐典

宮藺 貴至

山本 真澄

足立 知佳子

投石 真知

高田 隆侍

浅田 卓

佐藤 泰弘

協力

兵庫県信用農業協同組合連合会及び兵庫県内14農業協同組合

(一社) 兵庫県治山林道協会、兵庫県木材業協同組合連合会、(一財) 兵庫県水産振興基金